

坪川委員（自民議連）

令和6年3月5日
教育長答弁実録
（教育委員会）

（問）一人1台端末を活用した教育について

県内の小中学校における一人1台端末の活用状況とその効果について、併せて教育長に伺う。

（答）

県内の小中学校における一人1台端末の活用状況につきましては、令和5年度全国学力・学習状況調査の結果によりますと、授業で活用した頻度や、端末の持ち帰りに関する質問項目の多くが全国平均を上回っており、端末の活用が定着してきていると考えております。

各学校におきましては、例えば、

- ・ 児童生徒が主体的に学習を企画・実践する自由進度学習、
- ・ 共同で資料の作成・編集等を行う活動、
- ・ 多様な意見を共有しつつ合意形成を図る活動

など、授業等で端末を日常的に活用することにより「個別最適な学び」と「協働的な学び」の取組が積極的に進められております。

さらに、英語教育の充実に取り組む指定校におきましては、海外の学校の中学生と一緒に英語の授業を行うなど、オンラインの機能を生かした、新しい学習活動にも取り組んでおります。

こうした様々な取組により、児童生徒の主体的に学ぶ姿がこれまで以上に見られることとなったことが、一人1台端末の効果であると考えております。

県教育委員会といたしましては、引き続き、市町教育委員会と連携し、小中学校において、一人1台端末の活用がより積極的になされるよう、努めてまいります。